



こんにちは
日本共産党

市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える



国民の「目・耳・口」ふさいで戦争準備?!

裏面に法案の詳細

秘密保護法案は廃案しかない!!



桃山南、醍醐、小栗栖でキャラバン宣伝!!

安倍内閣が強行採決をしようとしている「特定秘密保護法案」を許さない世論を作ろうと、11月9日(土)にキャラバン宣伝が取り组まれました。桃山南団地の山田屋前から出発して、小栗栖府宮、小石橋、生協前など6か所での宣伝のほか、桃山南団地の中を地域の後援会の皆さんとともに、馬場府議、西野市議が桃太郎宣伝をしました。ベランダに出て聞く人や手を振る人など、反応は上々でした。

「何が秘密か、それは秘密です」

国民の知る権利も言論の自由も基本

的人権もないがしろにするような法律は許せません。弁護士、マスコミ、有名なキャスターの方たちも反対の立場を表明されています。国会では自民公明は多数でも、国民の多くの方が反対ですから、廃案に追い込むために世論で国会を動かしましょう。

醍醐母親大会が開催されました

11月10日(日)に醍醐母親大会が開かれ、西野さち子市議も参加しました。古川美和弁護士による「なぜ憲法を変えるの? みんなで守ろうくらしと憲法」と題する講演がありました。今、憲法がどんなふうに変えられようとしているのか。私たちにどんな影響があるのか等をテノポのいい語り口でわかりやすく話され、最後に「憲法は空気清浄器の様なもの。息苦しい社会の空気をきれいにしてくれる」と締めくくられました。

西野市議は焼却灰溶融施設の契約解除問題を報告し、年間20億円の無駄使いを止めることができたことや、174億円の建設費すべてを住友重機械工業から返してもらおうべきと報告しました。さらに、横大路の南部クリーンセンター第2工場の建て替えでごみ袋の有料化財源を8億5千万円も使って世界最先端の学習施設を計画している問題を報告しました。

市政報告

小栗栖排水機場見学



11月10日に小栗栖浸水被害についての報告会が行われました。京都市は「人災という立場で一刻も早い賠償をするためにチームを作り訪問を開始します。元の生活に早く戻っていただくためにできる限りの努力をします」と謝罪をしました。

参加した住民の皆さんからは対応の遅さや補償のあり方に対する意見が多く出されました。排水機場の見学会が行われ、西野市議も参加しました。写真はポンプの排水パイプの横に立つ西野市議です。大きさがわかります。

歳末特別生活資金貸付 (醍醐支所)

相談 12月9日(月)~13日(金)
午前9時~11時半・午後1時~3時
貸付 12月25日(水)
内容 1人3万円を目安に1世帯15万円を限度。担保、保証人は不要。ボーナスのある世帯や生活保護世帯、中国残留邦人等の支援世帯などは受けられません。
申請 印鑑、保険証(世帯全員分)が必要です。

安倍政権が国会に提出した特定秘密保護法案。「外交や防衛の話では…」と思ったら大マチガイ。国民の知る権利、表現の自由を侵害する大問題です。

ネットを見てたら突然逮捕?!

首相や外相、防衛相や警察庁長官など「行政機関の長」が、「これは秘密」と決めたら、どんな情報も、国民の目から隠されてしまいます。しかも、内閣の承認があれば、事実上永久に秘密のままにできるということです。

おそろしいのは、「これは秘密ですよ」と国民には知らされないこと。ネットを見ていて、知らないうちに秘密情報にふれていて、ある日突然逮捕ということも…。こんなことは絶対に許せません。



情報公開をもとめたら処罰?!

「秘密」をもつ人から情報提供をうけたらダメ。たとえ提供されなくても、そそのかした罪に…。ジャーナリストの取材も処罰の対象になります。政府が「配慮する」といっても、メディアは萎縮し、国民は真実を知る手段を失ってしまいます。

原発情報もマル秘に?!

たとえば福島原発事故。「原発をテロから守る」という口実で、汚染水がどこでもれたかも秘密になりえます。内閣情報調査室も「特定秘密になりうる」とハッキリ認めています。

3・11直後、国は、放射性物質の拡散データを国民に隠しました。いまでも「秘密天国」なのに、このうえ秘密保護法などできたら、国民の目と耳は、完全にふさがれてしまいます。

国会議員も懲役刑?!

「秘密」をもらした者は、懲役10年です。国会議員も5年の刑です。所属する党にもちかえて議論することもできません。国会を政府の下におき、独裁政治への道をひらく法案は、廃案しかありません。

ねらいは
どこに?

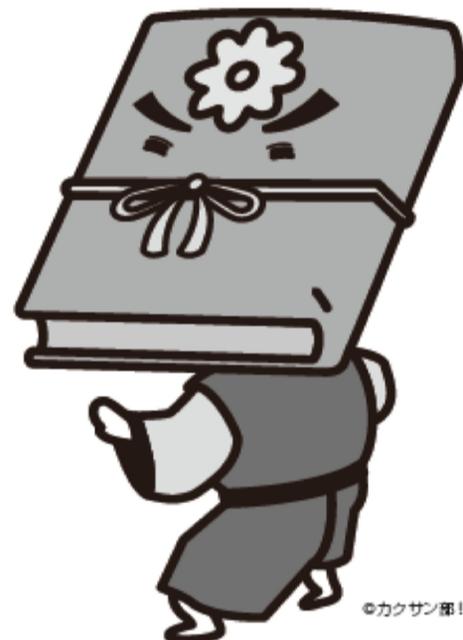
海外で戦争できる 国にするためです

安倍政権は、秘密保護法案を、国家安全保障会議（日本版NSC）設置法案とセットで成立させるといいます。

日本の外交・安全保障政策の「司令塔」となるNSC。そこで、アメリカと軍事戦略・情報を共有するために、アメリカなみのきびしい軍事情報保護の体制が必要に—これが、政府が秘密保護法の制定を急ぐ理由です。ねらいは、アメリカと一緒に海外で戦争する国づくりです。

戦前の「軍機保護法」がふたたび

軍港の近くの公園で酒盛りをしている様子を写真にとった人が、「許可を得ずして水陸の形状を撮影」したのは「軍機保護法違反」だと逮捕された—。こんな無法がまかりとおった戦前の日本。悲惨な侵略戦争に突き進み、おびただしい犠牲者をだしました。二度と、日本を戦争国家にはいけません。



憲法9条を生かした平和日本を! あちよー!
日本共産党カクサン部! 憲法担当ボーケン師匠